

急傾斜地の安全対策により安心・安全な教育研究環境を確保 (沖縄県中頭郡西原町)

効果概要: 老朽化により法枠の落下や法面の崩落等が発生している急傾斜地について安全対策を行った。安全対策の実施により、令和5年台風6号で1日当たり260.5mm、1時間当たり最大31.5mmの降水量を観測したが、法面の崩落等の被害は生じなかった。

府省庁名: 文部科学省

■ 実施主体: 国立大学法人 琉球大学

■ 対策の概要:

布製型枠工法による急傾斜地の安全対策

■ 事業費: 約5,500万円(令和3~4年度)

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約5,500万円)

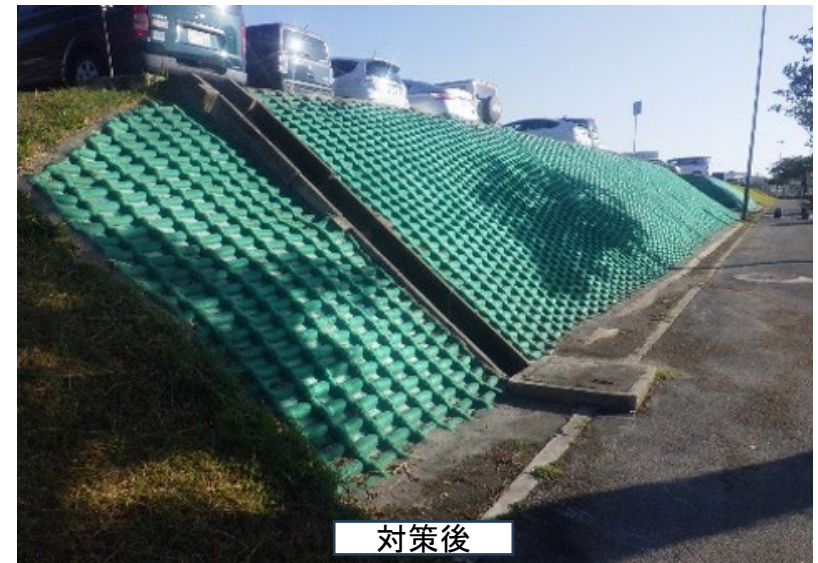
■ 効果:

対象となる急傾斜地に隣接する道路については、附属学校の児童生徒、大学の学生・教職員が日常的に使用しており、災害時には地域住民の避難経路としての利用も想定される。急傾斜地の安全対策を実施することで、安心・安全な教育研究環境と地域における災害時の安全が確保された。



対策前

老朽化による法枠の崩落が発生しており
通行者に危害を及ぼす危険があった



対策後